

小林宏己 教授 略歴・業績

【学歴】

- 1972年 3月 東京都立白鷗高等学校卒業
1972年 4月 東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程社会科選修入学
1976年 3月 東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程社会科選修卒業（教育学士）
1990年 3月 東京学芸大学大学院教育学研究科社会科教育専攻修士課程修了（教育学修士）

【職歴】

- 1976年 4月 東京都台東区立精華小学校教諭（1978年 3月まで）
1978年 4月 東京学芸大学教育学部附属世田谷小学校教諭（1998年 3月まで）
1998年 4月 東京学芸大学教育学部附属教育実践総合センター助教授（2004年 3月まで）
2004年 4月 東京学芸大学教育実践研究支援センター助教授（2007年 3月まで）
2007年 4月 東京学芸大学教育実践研究支援センター教授（2008年 3月まで）
2008年 4月 早稲田大学教育・総合科学学術院教授（現在に至る）

この間、茨城大学教育学部，横浜国立大学教育人間科学部，中央大学文学部，横浜国立大学経済学部，九州大学教育学部，名古屋大学教育学部で非常勤講師を担当

その他，教育出版小学校社会教科書編集委員・監修，同小学校生活教科書編集委員，文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会専門委員等を担当

【研究業績】 一主に初等教育学に関するもの一

著書（単著）

『「学習ノート」のつくり方活かし方—社会認識力の育成—』東洋館出版社 1990年

『授業研究 27 の原理・原則—授業力向上の実践的思考』学事出版 2013年

著書（共著）

『教育実践の探究』東洋館出版 1999年

『「授業研究」を創る』教育出版 2017年

著書（編著）

『子どもの学び・教師の学び』教育開発研究所 2006年

『小1 プロブレムを克服する！ 幼小連携活動プラン』明治図書 2009年

著書（共編著）

『授業記録のとり方活かし方—よい授業づくりの基盤と形成—』東洋館出版社 1989年

著書（分担執筆）

- ① 「生涯教育と歴史教育」『これからの歴史教育』東洋館出版 1985年
- ② 「『作品づくり』を通して、自ら学ぶ力を育てる—低学年社会科で楽しく学ぶ子供たち—」『自己学習力を育てる理論と実践』ぎょうせい 1987年
- ③ 「『身近な地域の文化財』の学習」『現代社会科教育実践講座 6「地域学習と産業学習』』研秀出版 1991年
- ④ 「『小学5年における「食の安全性」の追究—有機農業とネグロスバナナ—」『国際理解と教育実践—アジア・内なる国際化・教室—』エムティ出版 1992年
- ⑤ 「特色ある社会科授業にみられる教師の『人間観・教育観』」『新社会科授業論』教育出版 1992年
- ⑥ 「『有機農法の学習—消費と生産の統合的視点—』『学校の中での環境教育』国土社 1992年
- ⑦ 「『個のよさが生きる』とは」『個のよさが生きる授業』東洋館出版社 1995年
- ⑧ 「『くらしを見直し、追究の足場をつくり上げる社会科学習』『個のよさが生きる授業』東洋館出版社 1995年
- ⑨ 「『子どもの問いと東アジアへの視線—小学校の歴史学習から—』『新しい東アジア像の研究』三省堂 1995年
- ⑩ 「『個のよさが生きる学校カリキュラムの創造』『個のよさが生きる学校』東洋館出版社 1996年
- ⑪ 「『公害・環境学習』『個の育てる教育実践の筋道』明治図書 1997年
- ⑫ 「『子どもと共に学び成長する社会科教師の姿』『子どもの側に立つ社会科授業の創造』東洋館出版社 1998年
- ⑬ 「『子どもと共につくる総合学習』『個のよさが生きる総合学習』東洋館出版社 1998年
- ⑭ 「『社会科の学習指導論』『小学校社会科教育の探求』学芸図書 2001年
- ⑮ 「『民主的価値と子どもの主体性を追究する社会科教育』『21世紀国際化時代の相対主義社会科授業の理論と実践』東洋館出版社 2001年
- ⑯ 「『総合的な学習の時間における課題・内容・テーマ設定の現状と課題』『総合的な学習の時間・選択教科事例集』教育開発研究所 2002年
- ⑰ 「『総合的な学習の時間の指導力をどう高めるか』『学力を高める“教師力”の向上』教育開発研究所 2005年
- ⑱ 「『学びあう教師の授業研究』『生き方が育つ教育へ』黎明書房 2008年
- ⑲ 「『あたたかなクラスが生まれる学校』『あたたかなクラスづくり—「ベース力」が子どもをつなぐ—』東洋館出版社 2015年
- ⑳ 「『総合教育活動に挑み、楽しむ教師たち』『問いつづける子が育つ』東洋館出版 2018年
- ㉑ 「『総合的な学習（探究）の時間の原理と方法』『最新教育原理』東信堂 2020年
- ㉒ 「『学校をつなぐ変える教師の主体性と協働性』『令和の日本型学校教育への挑戦』教育出版 2022年
- ㉓ 「『小学校教育における社会科と教師の在り方』『教科専門性をはぐくむ教師教育』東信堂 2022年

論文（主な単著）

- ① 「『作品づくり』を生かした社会科授業構成の研究—『作業学習』に関する実践的一考察」東京学芸大学附属学校研究紀要第14集 1987年3月
- ② 「子どもと共につくる学級・学校とは」『ひと』267号, 太郎次郎社 1995年4月
- ③ 「子どもへの敏感さに基づく授業の構想力—小学校教師の専門性を高めるために—」日本教師教育学会『年報』第5号 1996年6月
- ④ 「社会科の教育課程を考える—小学校社会科授業の問題点と総合社会科の再生—」日本社会科教育学会『社会科教育研究』第77号 1997年3月
- ⑤ 「『総合的な学習』の教材性に関する研究—目標観と教材観の転換—」日本教材学会『年報』第9巻 1998年3月
- ⑥ 「個のよさが生きる学校カリキュラムの創造—カリキュラムの関連・統合・総合を求めて—」学術研究法人教育調査研究所『教育展望』1998年5月
- ⑦ 「小学校実践研究」日本社会科教育学会『社会科教育研究 1998 研究年報』1999年3月
- ⑧ 「観察実習における教育的諸概念の認識の様態」日本教育大学協会第二常置委員会『教科教育学研究』第18集 2000年3月
- ⑨ 「『総合的な学習』の教材性に関する研究(2)—「0次案」から「n次案」への創造—」日本教材学会『日本教材学会年報』第11巻 2000年3月
- ⑩ 「構築的教材化論の試み」日本教材学会『教材学研究』第13巻 2002年3月
- ⑪ 「社会系教科の構造と一貫性に関する総合的研究—予備調査の結果報告—」日本社会科教育学会『社会科教育研究』第88号 2002年10月
- ⑫ 「総合的な学習におけるカリキュラムの編み直し」日本生活科・総合的学習教育学会『せいかつ&そうごう』第10号 2003年2月
- ⑬ 「授業実践に基づく教師の指導と子どもの学びのズレに関する考察」東京学芸大学附属教育実践総合センター『研究紀要』第27集 2003年3月
- ⑭ 「子どもの自己表現力をはぐくむ社会科の学習活動」前掲『教育展望』2003年5月
- ⑮ 「授業実践過程における学習活動の再構築に関する考察」東京学芸大学附属教育実践総合センター『研究紀要』第28集 2004年3月
- ⑯ 「教科学習と総合学習の関連のあり方」日本教材学会『会報』No. 54 2004年3月
- ⑰ 「活動的で協同的な授業における教材のあり方—構築的教材の実践的活用—」日本教材学会『教材学研究』第17巻 2006年3月
- ⑱ 「社会科研修を通じた教師力の形成」前掲『教育展望』2006年3月
- ⑲ 「新しい教育実習自己評価表の開発」東京学芸大学附属教育実践研究支援センター『研究紀要』第3号 2007年3月
- ⑳ 「教育実習生の授業実践力を高める実地指導のあり方」東京学芸大学附属教育実践研究支援セン

ター『研究紀要』第4号 2008年3月

- ⑳ (共著)「子どもの時間意識の分析を通じた気付きの質的高まりの研究」日本生活科・総合的学習教育学会『せいかつ&そうごう』第15号 2008年3月
- ㉑ 「子どもの学びに即して、視野と見通しをもったカリキュラム作成を」初等教育研究会『教育研究』2008年9月
- ㉒ 「総合的な学習における教材の意義と働き」日本教材学会『設立20周年記念論文集』2008年11月
- ㉓ (共著)「社会認識力の形成プロセスに関する再検討」日本教材学会『教材学研究』21巻 2010年3月
- ㉔ 「自律的な社会科授業実践の再構築—指導法固定化の克服—」日本社会科教育学会『社会科教育研究』第110号 2010年9月
- ㉕ 「新教育課程実践上の課題と今後の方向性」前掲『教育展望』2011年7月
- ㉖ 「自ら学ぶ子どもを育てる授業づくり」文部科学省『初等教育資料』No. 887 2012年6月
- ㉗ 「教師養成における理論と実践の架橋に寄せる期待と課題」前掲『教育展望』2012年12月
- ㉘ 「保育における「教材」の可能性」全国社会福祉協議会『保育の友』2014年6月
- ㉙ 「教師にとっての「問う」力」図書文化『指導と評価』2015年2月
- ㉚ 「汎用的な資質・能力の育成に向けた、系統性・発展性を踏まえた指導計画に基づく授業づくり」前掲『教育展望』2015年4月
- ㉛ 「小・中学校におけるアクティブ・ラーニングに向けた授業改善の視点—授業の定型化を打ち破る教師力の向上を—」教育調査研究所『研究紀要』95号 2015年4月
- ㉜ 「実践現場に即して協働する教師と研究者の関係構築を」前掲『教育研究』2015年11月
- ㉝ 「新学習指導要領「社会」改訂の特徴と授業改善の課題」前掲『教育展望』2017年5月
- ㉞ 「つぶやきが聴こえる教師として生きる」前掲『教育研究』2018年6月
- ㉟ 「「深い学び」に迫る授業をどう進めるか」前掲『教育展望』2019年5月
- ㊱ 「板書の思想」前掲『教育研究』2019年9月
- ㊲ 「楽しく学ぶ子どもを育む教師の愉しみ」前掲『教育研究』2020年8月
- ㊳ 「学習意欲を高める社会科指導の在り方」前掲『教育展望』2022年6月
- ㊴ 「社会科で子どもが主体の学びをどのようにつくるか」前掲『教育展望』2023年6月

【所属学会等】

日本社会科教育学会会員（元評議員）、日本教材学会会員（元理事）、日本生活科・総合的学習教育学会会員（元理事）、日本教育学会会員、日本教師教育学会会員、日本教育方法学会会員
 日本教育大学協会社会科部門（元代表）、日本教育大学協会全国教育実習研究部門（元理事）
 社会科の初志をつらぬく会会員（元運営委員長、前会長）